

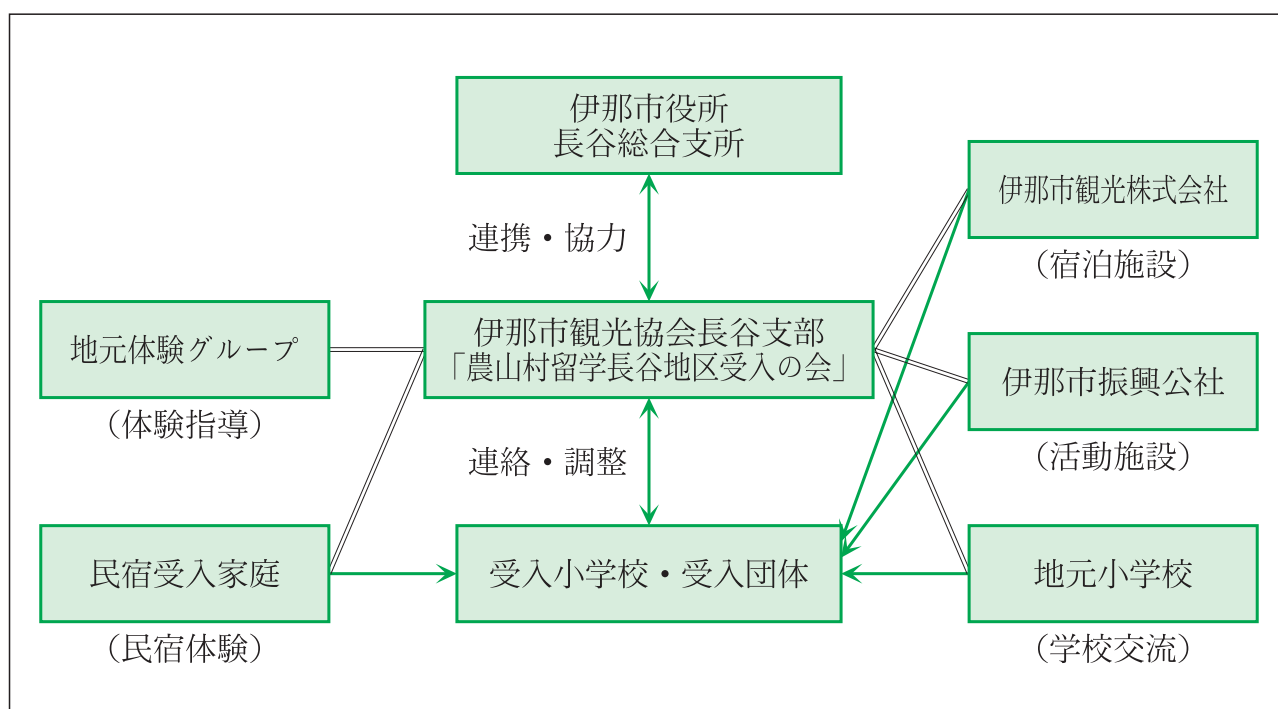
いな はせ
伊那市観光協会長谷支部「農山村留学長谷地区受入の会」

連絡先

住 所	長野県伊那市長谷溝口1394番地
電話番号	0265-98-3130
FAX番号	0265-98-2029

受入体制

組織構成：千葉市農山村留学推進協議会、千葉市農山村留学長谷地区受け入れの会、伊那市、伊那市振興公社（活動施設）、伊那市観光株式会社（宿泊施設）、上伊那森林組合（体験指導）



受入学校名

千葉県千葉市立生浜西小学校

当該小学校の受け入れの経過

(1) 小学校との最初の接点（きっかけ）

千葉市は平成13年度に「農山村留学推進モデル校」として市内の小学校7校を指定し、6年生全児童139名が教育課程の中で（モデル事業を実施）、長谷村（現伊那市）を訪問して長谷小学校の児童との交流や現地でのホームステイなどの生活体験、化石発掘等の自然体験など、多彩な活動を6泊7日で実施。⇒年々拡大。

平成17年に千葉市自然の家の開設に伴い、県内での農村留学と併せて全6年生での実施が実現。

(2) その後の小学校への対応

平成13年にモデル事業を実施してから平成23年度まで11年間実施されている。

小学校が当地を選定した理由

- (1) 留学先で多くの人々とめぐり合い、人間関係を広げる中、他人を思いやる心、社会性を育成する。
- (2) さまざまな体験学習を通して自主性・創造性を伸ばす。
- (3) ゆったりした時間の流れ、異なる学校の友達との生活を通して個性の伸長を図る。

以上の目的を達成することの出来る環境条件地区を模索したところ、歴史と山岳・高原・湖・山間農地に人情をかみあわせ持った長谷村を平成13年度の農山村留学事業のモデル地区に千葉市が指定し実施してきた。

受入地域への効果

「千葉市農山村留学」で長谷住民にとっても千葉市の子ども達を通して受け入れ地域が改めて自分達の郷土を見直すことにより、そこに培ってきた風土や文化が良いものがあるとの自信を持つことができ、都市と農山村交流事業の持つ意義を再認識することになった。経済的効果よりも精神的効果が高いといえる。

受け入れた小学校との関係維持への対応

極力学校側の希望に近づけるようにしている。